

筑波大学 理工学群 社会工学類
平成30年度 私費外国人留学生入試
小論文問題

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中身を見てはいけません。
2. すべての解答用紙と下書き用紙の定められた欄に、志望する「学群・学類」、「氏名」、「受験番号」をすべて記入すること。
3. 問題冊子は表紙を含め5ページあります。
4. 解答は、下記の通り、必ず2枚の解答用紙（マス目用紙）を使用すること。
設問1～4・・・解答用紙1枚目
設問5～6・・・解答用紙2枚目
5. 解答に際しては、設問番号を明記してから解答を作成すること。
6. 試験終了後、解答用紙と下書き用紙を別々に集めます。問題冊子は持ち帰ってください。

次のページ以降の英文は、2017 年 11 月 29 日付 The Japan Times に掲載された認知症(dementia)と最先端技術に関する記事です。この英文を読んで、次の 6 つの設問に日本語で答えなさい。

設問 1

下線(1)のビデオの内容を 60 字程度で簡潔に述べなさい。

設問 2

下線(2)より、2025 年の 65 歳以上の人口はおよそ何人と推定されるか答えなさい。

設問 3

下線(3)のようにした理由を 130 字程度で述べなさい。

設問 4

下線(4)を日本語に訳しなさい。

設問 5

下線(5)における 2 つの “they”、および “their”、“it” がそれぞれ指す英単語を示しなさい。さらに、それらの日本語訳を用いて下線(5)を日本語に訳しなさい。

設問 6

以下の(i)、(ii)について答えなさい。

(i) この記事の内容を参考にして、高齢社会における VR の価値について 150 字程度で述べなさい。

(ii) 高齢社会における VR の活用方法について、あなたのアイデアを 180 字程度で述べなさい。ただし、複数の活用方法について答えても構わない。

Figure 1 The map of the location of the study area in the north of Iran.

出典

Tomoko Otake, Japanese firm uses VR simulations to offer a glimpse into the world of dementia, November 29, 2017

< <https://www.japantimes.co.jp/news/2017/11/29/national/science-health/japanese-firm-uses-vr-simulations-offer-glimpse-world-dementia/#.WIRUmRO0NBw> >

注

- VR (virtual reality): a set of images and sounds, produced by a computer, that seem to represent a place or a situation that a person can take part in
- cognitive: connected with thinking or conscious mental processes
- immersive: seeming to surround the audience, player, etc. so that they feel completely involved in something
- developing: starting to suffer from something
- wreak: to cause something to happen in a violent and often uncontrolled way
- havoc: confusion and lack of order, especially causing damage or trouble
- empathize: to be able to understand how someone else feels